製品領域－２

第６回
いしかわエコデザイン賞2016
応募製品・サービス

株式会社ラピュタインターナショナル

「　非常時・停電時用　バッテリー内蔵LED蛍光灯　」

内蔵バッテリーで３時間点灯

通常点灯時

バッテリー点灯時

新　聞　2014年（平成26年）11月12日（水曜日）　北陸経済　（4）

停電時用の蛍光灯
川内原発に採用
ラピュタインターナショナル

商品企画・販売のラピュタインターナショナル（金沢市）が開発した停電時用蛍光灯＝写真＝が、九州電力川内原発（鹿児島県）で採用された。今月中に約2千本を納入する。リチウムイオンのバッテリーを内蔵して充電するため、停電時でも標準で約3時間点灯するのが特徴で、全電源喪失の原発事故に対応できることが評価された。

停電時用蛍光灯は発光ダイオード（LED）タイプで、消費電力は22ワット。停電になっても取り外して単体で使えるという。川内原発は鹿児島県が再稼働に同意し、年明け以降に再稼働する見通しで、ラピュタインターナショナルは急ピッチで納入作業を進めている。

堀田毅社長によると、北海道電力泊原発（北海道）でも7月に約2千本が取り付けられた。福島第1原発事故で全電源が喪失したことを受け、国内の原発では災害による停電が発生しても点灯し、作業環境を保つことができる蛍光灯が求められているという。

商品は約3年前に開発し、災害時の応急灯として工場や事務所などに提案している。堀田社長は「原発で採用されたことは、商品のアピールポイントになる。今後も売り込みを強めたい」と話している。

上半期の国の教育ローン融資額増加
日本公庫、北陸三県

日本政策金融公庫が11日まとめた国の教育ローンの北陸三県の利用実績による

BBSが損傷ホ…
半額で新…

鍛造ホイール製造・販売のBBSジャパン（高岡市）は12月1日、製品購入者でつくるオーナーズクラブの会員向けに、損傷したホイールを定価の半額で新品に交換するサービスを開始する。

同社によると、割れやゆがみが生じた鍛造ホイール

北國新聞に掲載された記事

特徴

- ●リチウムイオンバッテリーを組み込み、通常時は一般的なLED照明として充電しながら点灯し、電源供給が遮断されると自動的にバッテリー点灯に切り替わる。
- ●灯具から取り外して手持ちの誘導灯として使える。
- ●停電時に標準仕様バッテリーで約3時間点灯可能。